香美市文芸 風の流れ

◆一般投稿作品◆　広報委員会　選

葛香る野山に残暑きびしくて　楮佐古きよ
椎の実のトタンを弾く夜更けかな　山﨑　貴子
十薬に占領されし花畑　山﨑　寿美
来し方の未完を想ふ雲の峰　森本　幸美
瓜の花我が凡の日を足れりとす　森本　純喜
逢ふ雲も別るる雲も秋の空　三谷　誠郎
なつかしき陽のにほひ立つ刈り田道　中村　紫乃
秋立つと肌に感じる朝の風　都築　忠義
少しだけ拗ねて横向く夏帽子　上池　児未
雷を遠くに聞きてさだち待つ　岡本　初美
早苗饗の手苗供へてパック鮨　五百蔵利美
おしろいの花の香りに母しのび　有澤　春江
大輪の花火夜空に音高く　三木　牧子

◆かがみ野俳句会◆

風蘭のさ揺れる木陰匂ひたつ　古川　信子
裏方の主人にっこり夜店かな　利根　弘子
寝つかれずベランダに長居蛍の夜　森本　倢代
朴散華母の一言ありがたう　山崎　鈴子
化粧塩程よき加減鮎料理　中澤　美晴
訃報受く風蘭の香の濃き夕べ　佐竹　洋子

◆美良布俳句会◆

大方は冷汗ですと汗を拭く　岡本かほる
雨やみてのぼる山門苔の花　明石ゆきゑ
田水沸く峡に二つのヘリポート　北村　幸子
頃合のひとつ脚付け茄子の馬　北村　里子
発電機揃えて夜店次々と　小野川順子
ミキサー車止まぬエンジン残暑かな　前田　芳子
雷鳴に雨はまだかと空仰ぐ　中内ゆかり
爽やかや九秒八一リオ五輪　竹内　ろ草

◆かほく俳句会◆

炎帝に躬の心棒を抜かれたり　乾　真紀子
盆休み人びと増えし梅ノ久保　奥宮かなえ
生きてゐて不思議と思ふ終戦日　奥宮さとみ
蝉しぐれ耳欹てば筆山に　堅山　高子
三伏の連山を見て退院す　久保内鏡子
上達に近道はなし雲の峰　黒岩千英子
戦知る人の減りゆく終戦日　小松　隆之
炎天の人質となりテレビ見る　小松　昇
ふる里は近くて遠し雲の峰　杉山　春萌
いざなぎ流祭文の地の夏祭　野村　里史
消しゴムで消せぬ胸中蝉時雨　前田　智
困りたる蝮の味を聞かれても　前田　欣一
今朝秋や写経の筆を措く静寂　間崎　和代
終戦がまだそこにある終戦日　宮崎ただし
艶あるも泥付きもあり蝉の殻　山崎かずみ
姥百合や静かに村の細りゆく　宗石　愛喜
山の日の鳶は大きくひるがえる　森本　之子
決勝を新涼に待つ甲子園　山中　瑞輝
アンパンマン屋根に顔出す夏休み　山中　晶子
帰省子のただ一晩の円居かな　山中　明石

◆土佐山田町俳句会◆

イントロは水戸の黄門心太　明石　韮生
玉音のあの日聞かざる秋風鈴　大石　邦男
宝くじ小声に売れる暑さかな　橋本　昭和
弦のない父のバンジョー時計草　安丸　槇子
誰もいぬ猿猴淵や敗戦忌　前田美智子
トンネルをくぐる一氣に蝉時雨　森田　菊恵
極暑なる激辛ものを皿に受け　前田　小夜
ピアノ教室看板小さく百日紅　甲藤　卓雄
切り身食べイルカの芸の始む夏　笹岡　英世
頭の中のジジと音する残暑かな　西内　道彦
風鈴を団扇でならす幼児かな　森田　貞男
傘立に日傘四五本吾が杖と　田村　一翠

今月のキラリ

なつかしき陽のにほひ立つ刈り田道

久しぶりの里帰りであろうか。取り入れの終わった田んぼ道。眼前に広がる懐かしい風景。時に刈り田を流れる熱気を帯びた風が、むっと鼻をつく。『陽のにほひ』は実感である。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所記載不要）FAX53・5958

香美市立美術館 アートの窓

奥物部美術館

奥物部美術館では、久保菜月による個展『こしかたゆくすえ』を開催します。

久保菜月は昭和59年に高知市に生まれ、平成19年に高知大学を卒業後、鳴門教育大学大学院に進み、独自の絵画世界を追究してきました。個展やグループ展など、高知県内外で活動を続けています。

久保は長年、消えゆくもの・失っていくものをテーマに制作を続けてきました。品種改良を重ねさまざまな姿で生まれてくる金魚や、山を追われ今は姿を消してしまった狼などを、主に和紙にアクリル絵具を用いた技法で、美しく、はかなく描いています。このように、人の手によって失われていくものを描くことで、人間のエゴや傲慢さを表現しようとしています。幻想的に描かれた金魚の姿を見ていると、限られた小さな水槽の中で泳ぎ続ける姿を思い浮かべ、美しさの奥に潜む切なさのようなものを感じずにはいられません。

展覧会のタイトルである『こしかたゆくすえ』とは、『過去と未来』を意味します。未発表の作品とともに、過去の作品も多数展示することで、自身の今後の制作方向と改めて向き合っていくという作家の強い意志が感じられます。

ぜひ奥物部美術館へ足を運んでみてください。

（香美市立美術館学芸員・石見陽奈）

奥物部美術館

こしかたゆくすえ

－ 久保菜月 個展 －

10月4日（火）～11月27日（日）
休館日／毎週月曜日（祝日の場合、火曜日が休館）
※最終日は午後３時まで

▲さをしかの／久保菜月

吉井勇記念館だより

歌碑を巡る　秋の里山ウォーキング

吉井勇の歌碑がたつ猪野々を巡るイベントを開催します。猪野々の歴史スポットや勇ゆかりの道などを巡ります。

勇の短歌をはじめ、彼が隠せいし癒やされた猪野々の魅力を感じられるツアーとなっています。ぜひご参加ください。

【日時】10月29日（土）10時集合　※小雨決行
【定員】20人　※要予約
【参加費】１人２千円
※入館料込み。弁当・お茶付き。
【申込締切】10月20日（木）
【送迎バス】香美市役所本庁舎前より、JRバス美良布駅経由。
行き　9時20分発（美良布駅9時40分）
帰り　15時15分発
※予約時にお申し込みください。
【行程】※約4㌔の道のり
10時＝記念館集合→10時20分＝永瀬（歌碑前）よりウォーキングスタート→12時＝猪野々集会所で昼食・休憩→13時＝記念館・渓鬼荘見学→14時＝周辺の散策（明法寺・猪野沢温泉跡など）→15時＝解散

香北中学校吹奏楽部　演奏会

香北中吹奏楽部の演奏会を行います。ぜひお越しください。※参加無料
【日時】11月5日（土）14時～15時
※13時20分～学芸員による展示解説（別途入館料が必要です）。
【場所】猪野々集会所
【送迎バス】香美市役所本庁舎前より、JRバス美良布駅経由。
行き　12時30分発（美良布駅12時50分）
帰り　15時15分発

◆問い合わせ先　吉井勇記念館　☎58・2220